DENON®

DCD-50

COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書

- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。
- この製品は持ち込み対象製品です。詳しくは「保障と修理について」(☞39 ページ)をご覧ください。

目次

使用上のご注意 4
携帯電話使用時のご注意 4
お手入れについて 4
結露(つゆつき)について 4
換気についてのご注意 4
移動させるときのご注意 4
付属品 5
特長 6
高品質 6
多彩な機能 6
各部の名前 7
フロントパネル 7
ディスプレイ 9
リアパネル 10
リモコン 11

接続のしかた

接続のしかた 14
本機を設置する 15
横向きに設置する 15
縦向きに設置する 16
リモコンを使用する前に 18
リモコンの使いかた 19
デジタル機器を接続する 20
アナログ機器を接続する 21
電源コードを接続する 22

再生のしかた

基本操作 **24**
電源を入れる 24
ディスプレイの明るさを切り替える 24
CD を再生する **25**
CD を再生する 25
お好みの順序で再生する（プログラム再生） 27
データ CD（MP3 および WMA ファイル）を再生する **28**
ファイルを再生する 29

設定のしかた

その他の設定 **31**
オートスタンバイ 31
オートプレイ 32

困ったときは

こんなときの解決方法 34
故障かな？と思ったら 35
保証と修理について **39**

付録

再生できるメディア **41**
ディスク 41
ファイル 41
MP3/WMA ファイルの再生順番について 42
フォルダとファイルについて 43
メディア使用時のご注意 **44**
ディスクの入れかた 44
ディスクを入れる際のご注意 44
メディアの取り扱いについて 45
ディスクのお手入れのしかた 45
用語の解説 **46**
主な仕様 **47**
索引 **50**

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

ご使用になる前にご確認ください。

かんたんスタートガイド	取扱説明書（本書）	安全にお使いいただくために	保証書
電源コード 【本機専用】	リモコン（RC-1205） （電池内蔵）	同軸デジタルケーブル	キャップ（シルバー）（4個）

特長

高品質

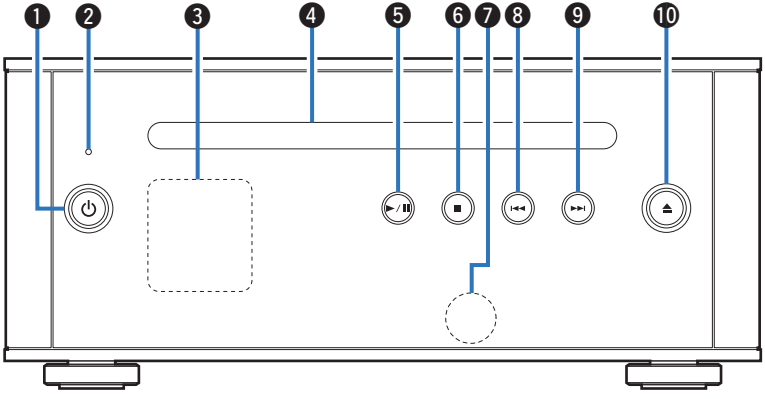
- **高精度 32bit D/A コンバーターを搭載したデノンクオリティのニュースタイル CD プレーヤー**
  音質の重要な要素を占める D/A コンバーターには、定評のある高精度な 32bit/192kHz の D/A コンバーターを採用しています。
- **高品質クラスDプリメインアンプ PMA-50 との組み合わせにより微小信号までの高い再現性を実現**
  デノン独自のアナログ波形再現技術 Advanced AL32 Processing を搭載した高品質クラスDプリメインアンプ PMA-50 と組み合わせると、筐体サイズを超えた「繊細さと力強さを両立したサウンド」を存分にお楽しみ頂けます。

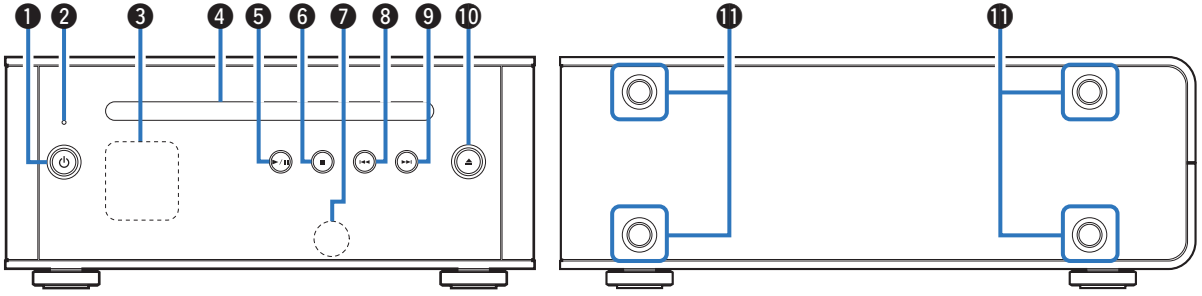
多彩な機能

- **プリメインアンプ PMA-50 にベストマッチングのニュースタイルデザイン**
- **縦置きに対応**
  本機は縦置きと横置きのどちらにも対応しています。
  設置方向に合わせて、ディスプレイの向きが自動的に回転します。
  また、縦置き・横置きどちらでもスムーズで安定した動作のスロットイン・メカニズムを搭載しています。
- **MP3、WMA ファイル再生に対応**
  CD-R、CD-RW ディスクに記録した MP3、WMA ファイルを再生できます。
  MP3、WMA 再生時には視認性の高い有機 EL ディスプレイに曲名やアーティスト名を表示可能です。
- **消費電力をおさえるオートスタンバイ機能を搭載**
- **PMA-50 の操作もできるシステムリモコンを付属**

各部の名前

フロントパネル





❶ **電源ボタン(⏻)**
電源をオン/スタンバイします。(☞24 ページ)
電源の状態を次のように表示します。
- 電源オン時:ディスプレイ点灯
- スタンバイ時:ディスプレイ消灯

❷ **保護回路動作表示**
保護回路がはたらいているときに点滅します。(☞35 ページ)

❸ **ディスプレイ**
各種情報を表示します。(☞9 ページ)

❹ **CD スロット(☞44 ページ)**

❺ **プレイ/ポーズボタン(▶/❚❚)**
再生をはじめます。再生中に押すと一時停止します。

❻ **ストップボタン(■)**
再生を停止します。

❼ **リモコン受光部**
リモコンからの信号を受信します。(☞19 ページ)

❽ **スキップボタン(❙◀◀)**
再生中の曲の先頭にスキップします。

❾ **スキップボタン(▶▶❙)**
次の曲の先頭にスキップします。

❿ **ディスク取り出しボタン(⏏)**
ディスクを取り出します。

⓫ **縦置き用フット取り付け穴**
本機を縦置きする際に使用します。(☞16 ページ)

ディスプレイ

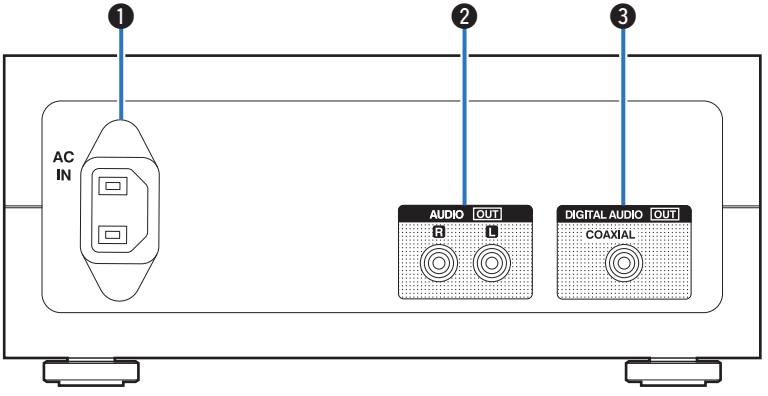
設置方向に合わせて、ディスプレイが自動的に回転します。

ディスプレイ表示例

アイコンについて

- ⤮: ランダム
- ⟲: 全曲リピート
- ⟲1: 1 曲リピート
- ♪: トラック
- 🗀: フォルダ

リアパネル

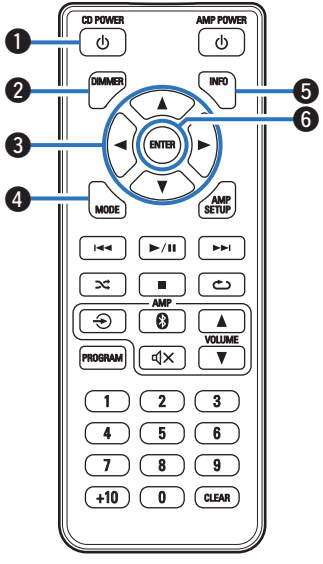


❶ **AC インレット(AC IN)**
付属の電源コードを接続します。(☞22 ページ)

❷ **アナログ出力端子(AUDIO OUT)**
アナログオーディオ入力端子付きのアンプを接続します。
(☞21 ページ)

❸ **デジタル音声出力端子(DIGITAL AUDIO OUT/COAXIAL)**
デジタルオーディオ入力端子付きのアンプを接続します。
(☞20 ページ)

リモコン



■ 本機の操作

❶ **電源ボタン(⏻)**

電源をオン/スタンバイします。

❷ **ディマーボタン(DIMMER)**

本機のディスプレイの明るさを調節します。(☞24 ページ)

❸ **カーソルボタン(▲▼◄ ►)**

データ CD 内のフォルダやファイルを選択します。

❹ **モードボタン(MODE)**

データ CD の再生モードを切り替えます。(☞28 ページ)

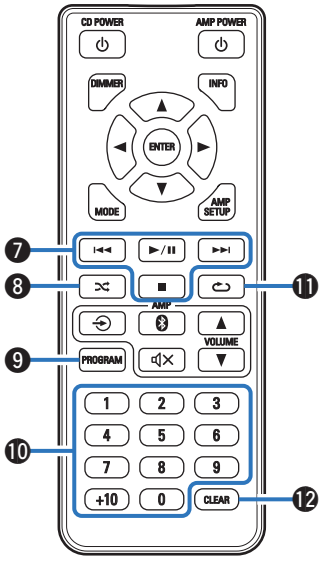
❺ **インフォメーションボタン(INFO)**

ディスプレイに表示する再生中の曲情報や、再生時間の表示を切り替えます。

❻ **エンターボタン(ENTER)**

選択した内容を確定します。

- ディマーボタン(DIMMER)はデノン製プリメインアンプ PMA-50 にもはたらきますので、本機と一緒に調節することができます。2台のディスプレイの明るさが違っているときは DIMMER を 2 秒以上押して、ともに初期化してから調節してください。
- ディスプレイの明るさの初期設定は、“通常”です。



❼ **システムボタン**
再生に関する操作をします。
- スキップボタン(⏮ / ⏭)
- プレイ/ポーズボタン(▶ / ⏸)
- ストップボタン(■)

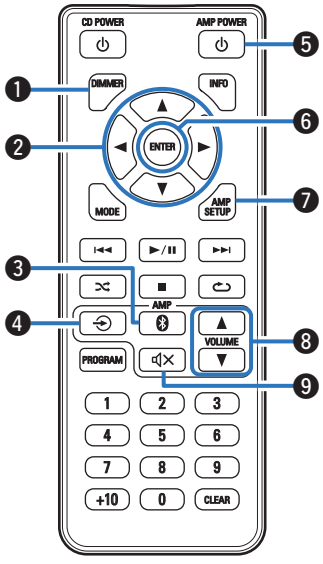
❽ **ランダムボタン(🔀)**
ランダム再生をします。

❾ **プログラムボタン(PROGRAM)**
プログラム再生をします。(☞27 ページ)

❿ **数字ボタン(0 ～ 9、+10)**
数字の入力をします。

⓫ **リピートボタン(🔁)**
リピート再生をします。

⓬ **クリアボタン(CLEAR)**
プログラムの登録を取り消します。(☞27 ページ)



■ アンプの操作

デノン製プリメインアンプ PMA-50 を操作できます。

❶ **ディマーボタン(DIMMER)**
ディスプレイの明るさを調節します。

❷ **カーソルボタン(▲▼◀ ▶)**
メニュー項目を選択します。

❸ **Bluetooth ボタン(✱)**
PMA-50 の入力を Bluetooth に切り替えます。また、ペアリング操作のときに押します。

❹ **入力ソース切り替えボタン(⊖)**
PMA-50 の入力ソースを切り替えます。

❺ **電源ボタン(AMP POWER ⏻)**
PMA-50 の電源をオン/スタンバイします。

❻ **エンターボタン(ENTER)**
選択した内容を確定します。

❼ **セットアップボタン(AMP SETUP)**
PMA-50 のディスプレイに設定メニューを表示します。

❽ **音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)**
音量を調節します。

❾ **ミュートボタン(🔇)**
消音します。

接続のしかた

接続のしかた

■ 目次

本機を設置する	15
デジタル機器を接続する	20
アナログ機器を接続する	21
電源コードを接続する	22

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

オーディオケーブル	
同軸デジタルケーブル（付属）	

本機を設置する

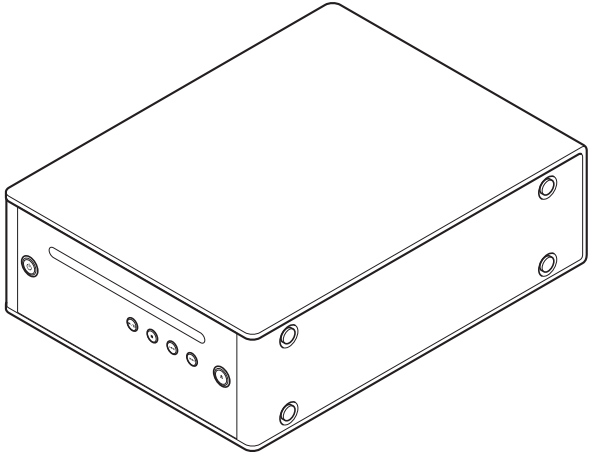
横向きと縦向き、2 種類の設置ができます。設置場所やお好みに合わせてお選びください。

ご注意

- ディスクの再生をはじめる前に本機を設置する向きを選び、設置してください。

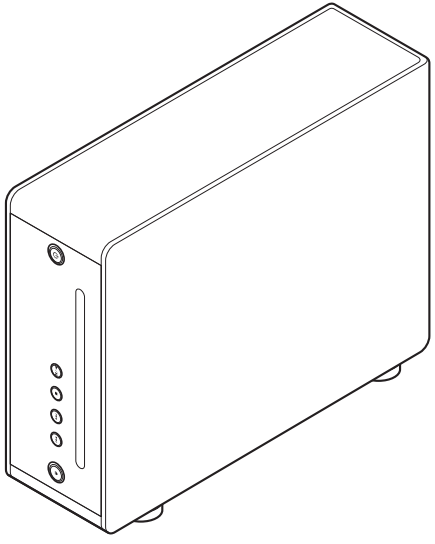
横向きに設置する

お買い上げ時は, 横向きに設置するようにフットが取り付けられています。

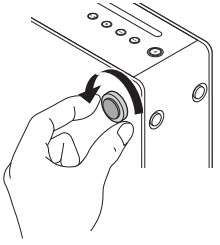


縦向きに設置する

狭い場所に設置する場合に適しています。

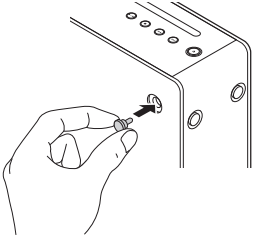


1 **フットを外す。**

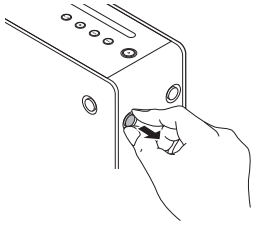


4 つのフットをそれぞれ反時計回しで外します。

2 **フットを外した穴に、付属するキャップ(シルバー)をはめる。**



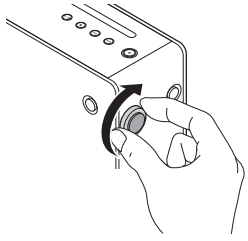
3 キャップ(黒)を外す。



ご注意

- キャップを外すときに、爪を傷めないようご注意ください。
  必要な場合は先端の細い工具をお使いください。そのとき、本体を工具で傷つけないようご注意ください。

4 外したフットを時計回しで取り付ける。

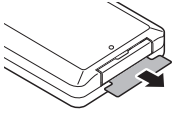


ご注意

- フットを取り付けたあとにセットが安定して設置されるよう、必要に応じてフットの高さを調整してください。

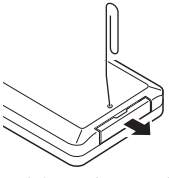
リモコンを使用する前に

リモコンにはあらかじめリチウム電池が入っています。
絶縁シートを引き抜いてご使用ください。

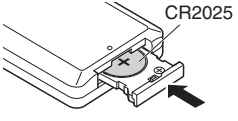


■ 電池交換のしかた

1. 先端の尖ったものでリモコンの穴を押しながら電池ケースを引き出す。



2. リチウム電池を電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。
3. 電池ケースを元どおりにする。

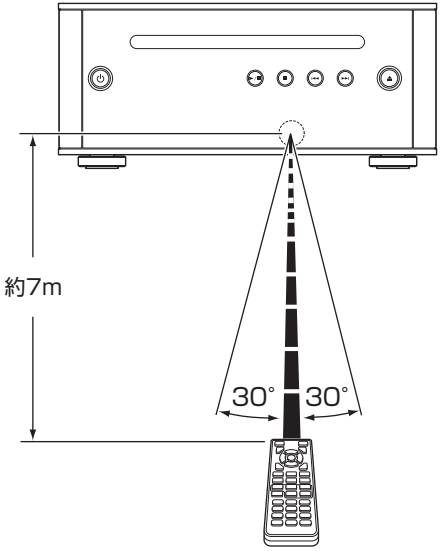


ご注意

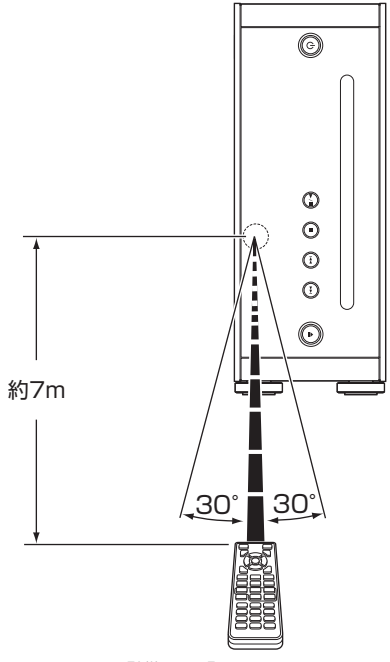
- リチウム電池は、リモコンの電池収納部の表示どおりに ⊕ 側･⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 万一、リチウム電池の液漏れがおこったときは、ただちに電池を処分してください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷する恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。誤って付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



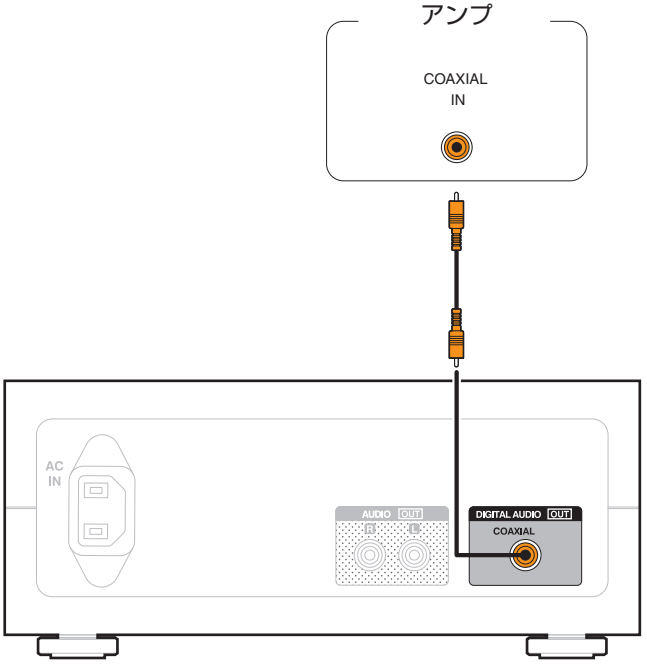
［横置き］



［縦置き］

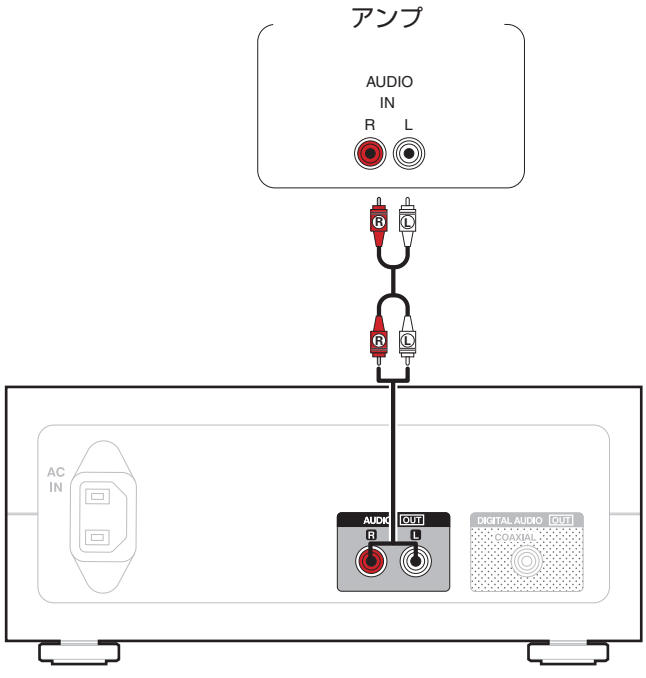
デジタル機器を接続する

デジタル入力端子(COAXIAL)を持つアンプと接続します。



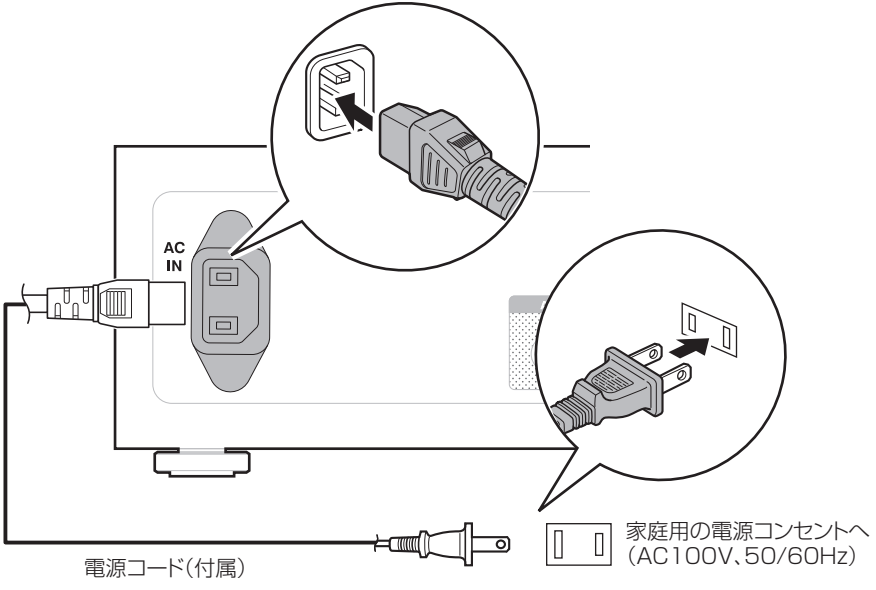
アナログ機器を接続する

アナログ入力端子を持つアンプと接続します。



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

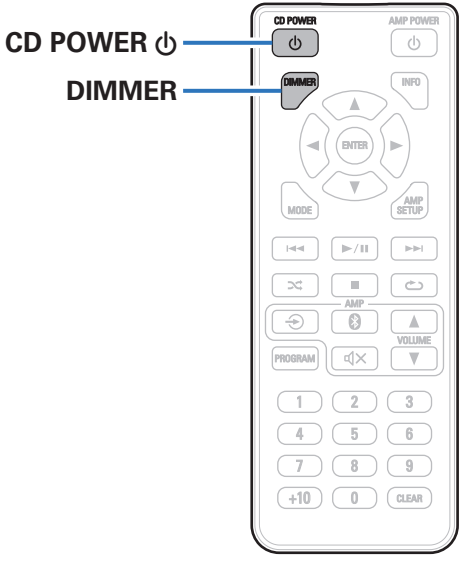


再生のしかた

■ 目次

基本操作	24
CD を再生する	25
データ CD（MP3 および WMA ファイル）を再生する	28
その他の設定	31

基本操作



電源を入れる

1 **CD POWER ⏻ を押して、電源を入れる。**

ディスプレイが点灯します。

■ 電源をスタンバイにする

1 **CD POWER ⏻ を押す。**

ディスプレイが消灯します。

- 本体の ⏻ を押しても操作できます。

ご注意

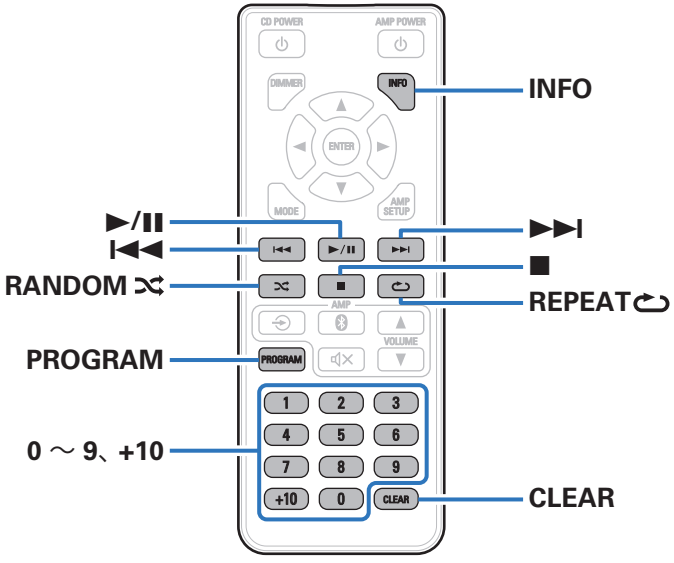
- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを 3 段階で調節できます。

1 **DIMMER を押す。**

CD を再生する



CD を再生する

1 **CD スロットにディスクを挿入する。(☞44 ページ)**

2 **►/II を押す。**

ディスプレイの ► 表示が点灯し、再生をはじめます。

ご注意

- 本機は 8cm ディスクに対応していません。CD スロットに 8cm ディスクを挿入しないでください。
- CD スロットに CD 以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。

■ CD を取り出す

1 **再生を停止し、⏏ を押す。**

操作ボタン	機能
► / ❚❚	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
	(長押し)早戻し/早送り
0〜9、+10	ダイレクト選曲
RANDOM ⤮	ランダム再生
REPEAT ⟲	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
INFO	時間表示切り替え • 再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間の表示を切り替えます。

■ 好きな曲を聴く(ダイレクト選曲)

1 **0 ～ 9、+10 を押して、トラック番号を入力する。**

【例】
4 曲目:
数字ボタンの 4 を押す。
12 曲目:
数字ボタンの+10 と 2 を押す。

お好みの順序で再生する（プログラム再生）

最大 25 曲までプログラム再生ができます。

1 停止中に PROGRAM を押す。

ディスプレイに“PROG”を表示します。

2 0 ～ 9、+10 を押して、トラック番号を入力する。

【例】

3 曲目、12 曲目の順にプログラムする場合は、3、+10、2 と押す。

3 ►/❚❚ を押す。

プログラムした曲順に再生をはじめます。

- プログラム再生中に RANDOM ⤮ を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- プログラム再生中に REPEAT ⟲ を押すと、プログラムした曲順でくり返し再生します。

ご注意

- ディスクを取り出したり、電源を切ったりするとプログラムを解除します。

■ プログラムした曲順を確認する

停止中に ►►❙ を押す。

►►❙ を押すたびに、プログラムした曲順で曲番を表示します。

■ プログラムした曲を取り消す

停止中に CLEAR を押す。

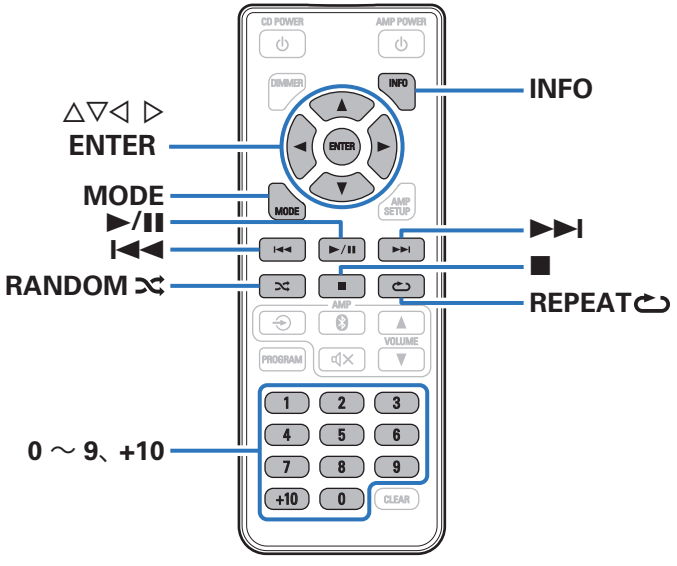
最後にプログラムした曲を取り消します。

CLEAR を押すたびに、最後にプログラムした曲から順に取り消します。

■ プログラムした曲をすべて取り消す

停止中に PROGRAM を押す。

データCD(MP3およびWMAファイル)を再生する



- CD-R または CD-RW に記録された MP3 および WMA ファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media® Audio)形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。それらのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R または CD-RW に書き込むことにより、本機で再生できます。

"Windows Media" および "Windows" は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

ファイルを再生する

1 **MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを記録してある CD-R/CD-RW を CD スロットに挿入する。**
(☞44 ページ)

2 **MODE を押して、“Folder mode”または“All mode”を選ぶ。**

ディスプレイ表示について

- “Folder mode”を選択したとき
  “■”表示が点灯します。
  選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
- “All mode”を選択したとき
  “■”表示が消灯します。
  選択したフォルダやファイルを再生したあと、フォルダ内のすべての曲を再生します。

3 **△▽ を押して、再生したいフォルダを選ぶ。**

4 **◁▷ を押して、再生したいファイルを選ぶ。**

5 **►/❚❚ を押す。**

再生をはじめます。

操作ボタン	機能
► / ❚❚	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
	(長押し)早戻し/早送り
△ ▽	フォルダを選択
◁ ▷	ファイルを選択
0〜9、+10	ダイレクト選曲
MODE	フォルダ再生モードへの切り替え • 選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
RANDOM ⤮	ランダム再生
REPEAT ⟲	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。

- 本機はディスク読み込み時にフォルダの番号とファイルの番号を自動的に設定します。

ご注意

- ディスクの MP3 および WMA ファイルを再生するときにプログラム再生はできません。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
（この場合、“Unsupported”を表示します。）
また、書き込みソフトやその他の要因により再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

■ 再生できるファイル（拡張子）（☞41 ページ）

■ 再生中にフォルダやファイルを変更する

- フォルダ
△▽ を押してフォルダを選び、ENTER を押す。
- ファイル
◁▷ を押してファイルを選び、ENTER を押す。
⏮、⏭ を押してファイルを選んだり、0〜9、+10 を押してファイルの番号を選ぶこともできます。

■ ディスプレイ表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

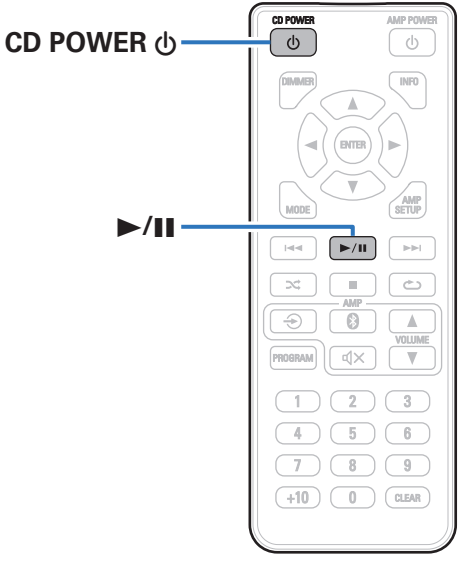
- タイトル名、アーティスト名およびアルバム名の表示を切り替えます。
- 表示できる文字は次のとおりです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789
！ ” ＃ $ ％ ＆ : ; ＜ ＞ ？ ＠ \ [ ] _ ` | { } ～ ^ ’ ( ) ＊ ＋ ,
- . / ＝ (空白)

タイトル名がない場合はファイル名を表示します。

設定のしかた

その他の設定



オートスタンバイ

本機が停止したまま何も操作しない状態が 30 分以上続くとき、自動的にスタンバイになるように設定します。

1 **電源オン時に、CD POWER ⏻ を約 5 秒間長押しする。**

オン:	本機をオートスタンバイモードに設定します。
オフ（お買い上げ時の設定）:	本機をオートスタンバイモードに設定しません。

- CD POWER ⏻ を長押しするたびに、オートスタンバイ機能のオン/ オフを切り替えます。
  - オートスタンバイ機能をオンにするとディスプレイに“Auto Standby On”を表示します。
  - オートスタンバイ機能をオフにするとディスプレイに“Auto Standby Off”を表示します。

オートプレイ

ディスクを挿入すると自動的に再生をはじめるかどうかを設定します。

1 電源オン時に、►/II を約 5 秒間長押しする。

オン:	自動的に再生をはじめます。
オフ (お買い上げ時の設定):	自動的に再生をはじめません。

- ►/II を長押しするたびに、オートプレイ機能のオン/ オフを切り替えます。
  - オートプレイ機能をオンにするとディスプレイに“Auto Play On”を表示します。
  - オートプレイ機能をオフにするとディスプレイに“Auto Play Off”を表示します。
- オートプレイ機能をオンに設定し、あらかじめディスクが挿入されている状態から電源を入れると自動的に再生がはじまります。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

特定のフォルダのみを再生したい 34
ディスクを挿入したあと、自動的に再生したい 34
スタンバイ状態から 1 回の操作で再生したい 34

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる 35
LED が点滅している 35
リモコンで操作ができない 36
音がまったく出ない 37
ディスクが再生できない 37
ディスクを取り出せない 38
ファイル名やタグデータが正しく表示されない 38

こんなときの解決方法

特定のフォルダのみを再生したい

- リモコンの MODE ボタンを押して再生範囲の設定を“Folder mode”に切り替えてから、再生したいフォルダを選択して再生してください。(☞29 ページ)

ディスクを挿入するとすぐに再生がはじまるようにしたい

- オートプレイ機能をオンに設定してください。(☞32 ページ)

スタンバイ状態から 1 回の操作で再生したい

- 本体またはリモコンの ►/❚❚ ボタンを押すと電源がオンになり、再生をはじめます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、初めに次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってご確認ください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症状	原因　/　対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	22
電源が自動的に切れる。	• 本機はオートスタンバイモードに設定されています。オートスタンバイモードでは、本機が停止したまま何も操作しない状態が３０分以上続くと、本機は自動的にスタンバイになります。オートスタンバイモードを解除するには、オートスタンバイモード時に本体の ⏻ ボタンかリモコンの CD POWER ⏻ ボタンを約 5 秒以上長押ししてください。	31

■ LED が点滅している

症状	原因　/　対策	関連ページ
赤色に点滅している。	• 本機の回路が故障しています。電源を切り、当社のお客様相談センターにご連絡ください。	–

■ リモコンで操作ができない

症状	原因　/　対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。	18
	• リモコンは、本機から約 7m および 30°以内の範囲で操作してください。	19
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	−
	• 電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	18
	• 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。	−
	• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや 3D 視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	−

■ 音がまったく出ない

症状	原因　/　対策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	• すべての機器の接続を確認してください。	14
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	–
	• 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	–
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	–
	• アンプの設定を確認し、適切に調節してください。	–

■ ディスクが再生できない

症状	原因　/　対策	関連ページ
再生ボタンを押しても再生しない、またはディスクの特定の場所が正しく再生できない。	• ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	45
CD-R/CD-RW が再生できない。	• ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。	41
	• 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。	–
	• 本機のデータ CD 再生機能は MP3 および WMA ファイルのみに対応しています。	41
ディスプレイに“Unsupported”と表示される。	• ディスクを裏返しに挿入しています。	41
	• 再生できないディスクを挿入しています。	41

■ ディスクを取り出せない

症状	原因　/　対策	関連ページ
ディスク取り出しボタン(⏏)を押しても、ディスクが取り出せない。	• 約 5 秒以上ディスク取り出しボタン(⏏)を押してください。	–
	• 本機が故障しています。当社のお客様相談センターにご連絡ください。	–

■ ファイル名やタグデータが正しく表示されない

症状	原因　/　対策	関連ページ
ファイル名が“…”など、正しく表示されない。	• 表示できない文字が使われています。故障ではありません。本機で表示できない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。	–

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から 1 年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料‥‥故障した製品を正常に修復するための料金です。
  技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代‥‥修理に使用した部品代金です。
  その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料‥‥製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
  別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名‥‥‥取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号‥‥保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

再生できるメディア

ディスク

再生できるメディア	
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

ファイル

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生します。

■ ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1、2
拡張フォーマット(ジュリエット、ロメオ)

■ 他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数
最大フォルダ数:255 個
最大ファイル数:255 個

■ タグ情報

ID3 タグ(Ver.1.x と 2.x)
WMA タグ
(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

再生できるファイル（拡張子）	ファイルの仕様
MP3（.mp3）	• サンプリング周波数：32/44.1/48kHz
	• ビットレート：32kbps～320kbps
	• ファイルフォーマット：MPEG1 Audio Layer 3
WMA（.wma）	• サンプリング周波数：32/44.1/48kHz
	• ビットレート：64kbps～192kbps
	• ファイルフォーマット：Windows Media Audio

ご注意

- ファイルには必ず拡張子“.MP3”“.WMA”を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MP3/WMA ファイルの再生順番について

MP3/WMA ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

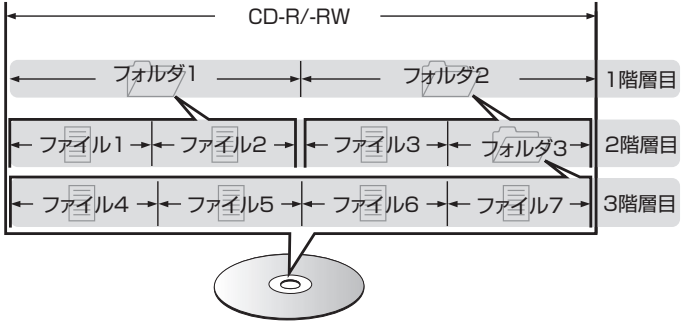
CD-R/CD-RW

CD-R や CD-RW ディスクに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ・・・・・・、の順番に再生します。

- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が異なる場合があります。

フォルダとファイルについて

CD-R/-RW に記録された MP3/WMA ファイルは、いくつかの大きな区切り（フォルダ）と小さな区切り（ファイル）に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 8 階層まで認識できます。

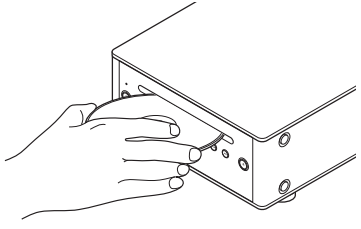


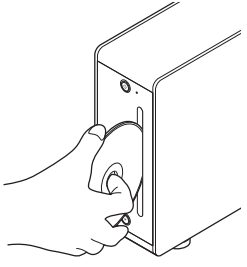
MP3/WMA ファイルを CD-R/-RW に書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「ISO9660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

メディア使用時のご注意

ディスクの入れかた

- 本機を横向きに設置する場合、ディスクの記録面を下にして挿入してください。
- 本機を縦向きに設置する場合、ディスクの記録面を左にして挿入してください。
- CD スロットにはゆっくりと挿入してください。ディスクが引き込まれはじめたら手を離してください。





- ディスクが挿入されていない場合、ディスプレイに“No Disc”を表示します。
- ディスクが裏返しに挿入された場合、ディスプレイに“Unsupported”を表示します。
- ディスクを正しく読み取れないときはディスプレイに“Unsupported”を表示します。

ディスクを入れる際のご注意

- 本機は 8cm ディスクに対応していません。CD スロットに 8cm ディスクを挿入しないでください。
- 8cm ディスクアダプターは使用できません。
- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

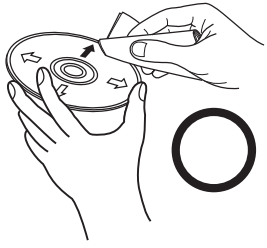
メディアの取り扱いについて

- 指紋･油･ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。
- 次のような場所に置かないでください。

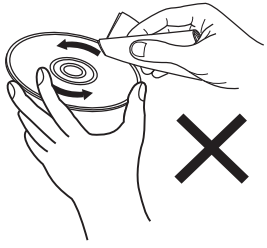
1. 直射日光が長時間当たるところ
2. 湿気･ほこりなどが多いところ
3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、別売りのディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。



円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー･帯電防止剤や、ベンジン･シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

用語の解説

MP3（MPEG Audio Layer-3）

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

WMA（Windows Media Audio）

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード（符号化）することができます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ビットレート（Bit rate）

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビット処理したかを表します。

ファイナライズ

CD レコーダーや CD ドライブで録音された CD を、再生対応機器で再生できるように処理することです。

リニア PCM

圧縮していない PCM（Pulse Code Modulation）信号です。MP3 などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

主な仕様

■ オーディオ特性

- アナログ出力

チャンネル:	2 チャンネル
再生周波数範囲:	2Hz～20kHz
再生周波数特性:	20～20kHz(±1%)
S/N 比:	105dB
ダイナミックレンジ:	100dB
チャンネルセパレーション:	100dB
高調波歪率:	0.004%(1kHz)
ワウ・フラッター:	水晶精度

- 出力レベル

信号方式:	2V RMS stereo

- デジタル出力

同軸出力(ピンジャック):	0.5Vp-p/75Ω

- 光学読み取り方式

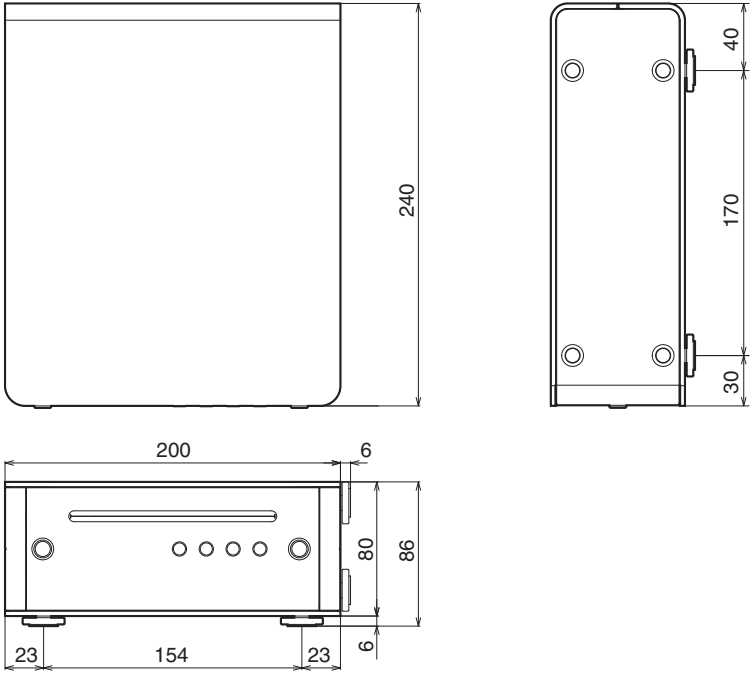
レーザー:	AlGaAs
波長:	780nm
信号方式:	16-bit リニア PCM
サンプリング周波数:	44.1kHz

■ 総合

電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	10W
スタンバイ時の消費電力:	0.4W 以下
許容動作温度:	+5℃～+35℃
許容動作湿度:	5～90%(結露のないこと)

JEITA:(社)電子情報技術産業協会(略称:JEITA)が制定した規格です。
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:2.4kg

索引

☞ C

CD 25

☞ お

オートスタンバイ 31
オートプレイ 32

☞ て

ディスプレイ 9
ディマー 24
データ CD 28

☞ ふ

プログラム再生 27
フロントパネル 7

☞ ら

ランダム再生 25, 28

☞ り

リアパネル 10
リピート再生 25, 28
リモコン 11

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

☎ 0570（666）112
FAX：044（544）3171

■ 受付時間　9：30～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合　☎ 03（3570）5138
〒210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

■ お問い合わせをいただく前に、ホームページの FAQ（よくあるご質問と回答）をご確認ください。
http://denon.jp/jp/html/faq.html

■ メールでお問い合わせをいただくこともできます。
http://denon.jp/jp/html/contact.html

＊ 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

☎ 0570（666）112

■ 受付時間　9：30～12：00、13：00～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合　☎ 03（3570）5138

■ 故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
http://denon.jp/jp/html/service.html

■ 修理品お持ち込み窓口
・首都圏サービスセンター
〒252-0816　神奈川県藤沢市遠藤 2010-16
FAX：0466（86）9522
・関西サービスセンター
〒573-0094　大阪府枚方市南中振 3-2-7　三井倉庫ロジスティクス C 棟 3F
FAX：072（802）3226

＊ ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス
〒210-8569
神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

Printed in China　5411 11291 00AD
Copyright ©2015 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.